



©Yuki Asada

## 女性たちの自立への一歩に

広大なサバンナに野生動物の群れ。アフリカと聞いて多くの人が思い浮かべるであろう景色が広がる国が、ボツワナだ。そんな環境で暮らす人々の生活に、今、近代化の波が押し寄せている。

ボツワナでは、最近まで先住民が昔ながらの狩猟採集生活を送っていたが、政府が自然保護や生活改善を理由にこれを禁止した。再定住地へと移住した彼らは、村の清掃や食事の分配など政府が用意した簡単な仕事に取り組んでいるが、その収入は微々たるものだ。

「政府の支援に頼らないためにも、村に仕事を作る必要がありました」。立ち上がったのは、おとし、青年海外協力隊としてボテティ郡庁に派遣された長山悦子さんだ。再定住地の一つであるツェレ村

の女性たちと共に、手作りのアクセサリーを売り出すプロジェクトに乗り出した。

ネックレスやピアスには、現地の伝統的な布地「マテイシ」で作ったビーズを使用している。「マテイシは、パーティーや結婚式用の服を仕立てるのに使われるので、ドレスにもよく合います」と長山さん。明るい色合いとモダンな柄が特徴で、観光客からも好評だという。

「初めは生産者のモチベーションを保つのに苦労しましたが、目標の数値を決めて取り組むうちに、材料の調達や受注のやり取りなど、できることが増えていく喜びをみんなが感じられるようになりました」と長山さんは話す。

一つ一つ心を込めて作られたアクセサリーは、そんな女性たちの自信の表れだ。



長山さん(左から2人目)と生産者の女性たち。アクセサリーの他、バッグやネクタイも作っている

- ★ボツワナの手作りアクセサリーを1人にプレゼント!  
→詳細は38ページへ
- ★商品はオンラインショップ「GIFT FROM BOTSWANA」([www.giftbotswana-japan.jimdo.com/](http://www.giftbotswana-japan.jimdo.com/))を通じて購入可能。

